

【出席率】 会員58名中39名

【先々週の出席率】 87.76%

【先週のメイクアップ】

6/4 燕RCへ 西巻克郎君

6/7 三条ローターアクトクリーン作戦へ  
吉井正孝君 鈴木圀彦君 星野健司君

## 会長挨拶

吉井 正孝 会長

こんにちは。ご挨拶申し上げます。



今日、皆さんのお手許に事務局の長橋さんが、今年度一年間の例会出席状況をまとめた「通信簿」が届いておるかと思ひます。ご承知の通り当南RCは、創立以来40年間に亘り、90%超の出席率をキープして参りました。そして今年度は、馬場ガバナー輩出の年・・・その「90%キープ」に、やや陰りが生ずる状況となつてきております。この10日以降、近隣各クラブ共、会長・幹事慰労会が「目白押し」の状態です。2週間前後に例会欠席の方は、ぜひとも「記帳」を宜しくお願ひ申し上げます。そして今年度も、何とか90%の出席率を確保したいものです。



さて会長挨拶も終盤近くなると、そろそろネタも尽きてきてしまいます。そこで今日は、わが社の本業の話をしてしようかと思ひます。

当社は建設工事の中で使用される電気工事材料を、電気工事店に「卸販売」する仕事をやっております。お得意様は全員が電気工事のプロ。会員では、大原さんや丸山（徹）さんが大事なお客様です。

今日は我々の業界としてこれから、力を入れてお客様に提案していくべき商品群の幾つかをご紹介してみようと思ひます。

その1つ目は、LED等「新光源」を用いた照明です。LEDは身近かな処では街の「信号機」。小さなLED素子を沢山集める事により明るさを増し、寿命も長く、「省電力」でランニングコストを抑え、高所でのメンテナンス作業の手間も省ける「優れモノ」です。ただし現段階、少々値段が張るのが「難」。しかし設置場所によっては便利この上もない製品です。公園や地下道など、長時間の点灯を要する場所。「高所」で、なかなかメンテが難しい場所など、公共施設を中心に採用ケースが飛躍的に増えつつあります。また最近の「エコブーム」を反映して、部分的に「一般住宅」にも採用されるケースも増えてきています。

2つ目は、「エコ・キュート」。エアコンの原理を逆に利用し、「熱交換」により急速に高温のお湯を沸かすシステム。温度上昇が早い分、消費電力も少なく、これまで



国際ロータリー会長 李 東 建 [韓 国]  
第2560地区ガバナー 馬 場 信 彦 [三 条 南]  
第4分区AG 古 井 辰 禱 [吉 田]  
会 長 吉 井 正 孝  
幹 事 鈴 木 圀 彦  
S A A 野 中 悟

事務局

〒955-8666 三条市旭町2-5-10  
三条信用金庫本店内

☎0256-35-3477 Fax 0256-32-7095

E-maile info@sanjo-minami.jp

URL <http://www.sanjo-minami.jp>

の1/3~1/4の電力コスト。お得な深夜電力割引との併用で、ランニングコストはさらに「低減」します。それと「IHヒーター」。高気密・高断熱の居住空間。そして「高齢化」が進む住宅環境にあって、火を使わない調理器具は「安全」そのもの・・・。

3つ目は、「セキュリティ」。身近かな処では一般家庭でも、インターホンの「ピン・ポーン」が、訪問者の顔が見える「テレビ・ドアホン」に代わってきています。しかもカラー画面で、ちゃんと「記録」もとってくれる。首都圏の通学路等では、防犯カメラ、非常警報装置の全てを内蔵した「センサー防犯灯」の設置も進んでいるとの事です。それだけ、都市の治安が悪化していると言う事です。事実、犯罪で防犯カメラの映像が重視される時代になってしまっていますね。

4つ目は、「地デジ」。2011年7月を以って現在のアナログ放送は終了。全て「地デジ」に変わります。国も家電業界と一緒にこの時期を捉え、「薄型テレビ」への移行を盛んにPR。「エコ・ポイント」の付与をチラつかせながら、その他の電化製品の買い替え促進を進め、市場活性化を目指しています。ただ、このエコ・ポイントの中身については、現段階「不明」の状況・・・。

そして最後は「太陽光発電」。日本は数年前から太陽光パネルの生産高と性能は「世界一」。ただしその90%は輸出。残りの10%内外が国内需要。そしてその大半が、企業モニター用や会社のイメージ創りとしての採用が中心。一般家庭での採用は微々たる数字。先進諸国、特に欧州の「太陽光」に対する手厚い補助制度や電力会社の高値買い取りの義務化等、普及に向けた法整備も更に充実・・・。一方、日本はようやくこれからの状態。しかも表日本と異なり、新潟県の三条での太陽光は・・・と言うと、売る方が考えてしまいます。

いづれにしても、これらの商品は全て「エコ関連商品」。地球温暖化とCO2排出規制を強く意識した優れた「商品たち」です。少しでもお金に余裕のある方、自動車業界の「エコ対応」のみならず、われわれ業界のエコ商品群にもご注目いただき、世の中の景気をうんとジャッキアップして欲しいものです。今日の会長挨拶はこの辺で・・・。

## 幹事報告

鈴木 圀彦 幹事

●これからの例会予定（例会場変更のお知らせ）

6月15日 通常例会 「クラブ・フォーラム」 於：三条ロイヤルホテル 2F  
6月22日 通常例会 「クラブ・フォーラム」 於：三条信用金庫 本店 3F  
6月29日 夜例会 「ガバナー・地区幹事、会長・幹事慰労会」 18：30～ 於：おゝ乃

# ニコニコボックス

～・ 6月 8日 12,000円 今年度累計 971,894円 ～

吉井君 今月は各クラブともに会長幹事慰労会等で、「記帳」が目白押しです。クラブ40年連続90%以上の出席率の確保と、ご自分のため、馬場ガバナーのため・・・、ご協力下さい。私の最後のお願いです。

鈴木(圀)君 本日の卓話、三野輪さん、初卓話ご苦労さまです。よろしくお願ひ致します。

三野輪君 今日は、卓話デビューです。退屈してしまうかも知れませんが、よろしくお願ひ致します。

佐藤(嘉)君 三野輪会員、卓話ご苦労さまです。BOXに協力して。

田代君 三野輪さんの本日の卓話、楽しみにしています。

野中君 三野輪さん、本日の卓話、期待しております。

相田君 6月15日は私の誕生日です。元気で78歳になり、喜んでおります。

蕪澤君 6月も1/3過ぎました。間もなく年度変わりとなります。皆さんに色々とお世話様になりました。

坂井(範)君 今月29日、おゝ乃において「ガバナー・地区幹事、会長・幹事慰労会」を開催致します。ぜひご参加下さいませように！

平松君、渡邊(久)君 BOXに協力致します。

馬場(一)君 BOXに協力、有り難うございました。三野輪さん、卓話ご苦労さまです。



## 「私の考える感動感激の旅、 真の異文化体験とは」

三野輪 明人 会員

こんにちは、三野輪でございます。

3週間程前でしょうか、そろそろ卓輪の準備に入ろうかなと思った時に、親睦委員会の打合せ会がございまして、その席で次期会長になられます佐藤さんから、“最初の卓話は自己紹介でもいいんですよ！”と、優しくアドバイスをいただきましたので、そのセオリー通り、まずはそこらへんから、始めさせていただきたいと思います。

退屈してしまうかもしれませんが、ご清聴どうぞよろしくお願い致します。

今年新潟国体がありますが、40数年前にも新潟で一回目の国体があったと、聞いております。たまたま、これも2、3週間程前の話なのですが、朝6時から行われている倫理法人会の早朝セミナーで新潟国体の講演がありまして、その時に知った事なのですが、その一回目の新潟国体が行われたのは、昭和39年6月だったそうです。私は、その国体の準備で、忙しかったであろう昭和39年(1964年)の5月に埼玉県越谷市で生まれました。3300グラムの元気のいい男の子でした！そんなことまではどうでもいいことなのですが！昭和39年と言えば東京オリンピックが開催された年でもあります。

その後、社会に出るまでの20数年間越谷で育ちました。ここで私の故郷『越谷』という街を少し紹介させていただきます。

まず、国民健康保険、発祥の地であります。昭和13年に国民健康保険法と言うのが施行されたようなのですが、それよりも3年早く『越谷順正会』と言う、日本初の健康保険制度が発足されました。また、日光街道の江戸から数えて『3番目の』宿場町でありました。特産物は『鴨ねぎ鍋』で地域の“特産ブランド”として売り出されています。

最後に、三条出身の『世界のジャイアント馬場』の後継者である『三沢光晴』というプロレスラーが越谷市内の中学校を卒業しています。私の2つ上の先輩です。

こんな街でございます。

社会に出てからは福島県のいわき、栃木県の小山、それと埼玉県の大宮にそれぞれ6年ずついまして、そのあと土浦つくばで4年勤務し、昨年12月三条に参りました。

こうして、旅行業界で20数年お世話になりましたので、国内・海外色々なところに行く機会がございました。しかし、しかしですね、どんなにきれいな景色や、素晴らしい芸術作品、世界遺産を見ても、また、どんなにおいしいものを食べたり、いい温泉に浸かって癒されたりしても“心から感動感激した旅！”というのは、正直なかなか無いものなのです。でも、でもですね、学生の時に経験した旅の中にそれがあったのです。それは、どんな旅だったかと言いますと・・・、

学生時代、授業を半年間さぼってアメリカを旅した事や、タイの農村にファームステイをして、地元の人たちと植林活動をしたこと、こういった旅の中にあつた訳でございます。

アメリカの旅は、話すとちょっと長くなってしまいますので、今日はタイのお話をさせていただきたいと思ひます。

タイに行ったのは1986年の夏でした。

オイスカというNGO団体が主催する『日タイ友好植林フォーラム』というツアーで、どんなものだったかと言いますと、まず、日程は2週間、そのうちの半分強は農村にホームステイをして、のっ原を耕し、草むしりをし、そこにマンゴーやパパイヤなどの果樹を植えたりする農作業を行うというものでございました。日本からはガールスカウトやボーイスカウトチーム、プラス一般募集で、約100数十名が参加いたしました。そこにタイの現地の子供たちを含めた、地域の人達数百名と協力して行いういわゆる“草の根の国際協力事業”の一つでございました。

日程の後半は、バンコクや、パタヤを観光致しました。大ざっぱにこんな内容なのですが…。

そして、現地に入りバスが着くと、それぞれ割り当てられた各農家に行くのですが、その時ミネラルウォーターを一人2本ずつ持たされました。水道の水、生水はもちろん飲めませんので当然なのですが。それで、早速お世話になる農家の家に上がり、熱帯地域でものすごく暑いところですので、まずは冷たいお茶が出されました。でも私はそれを飲まなかったのです。いや、飲めなかったのです。事前のレクチャ



一で、おなかを壊すから飲み物には十分注意するようにと言われていましたので、持ってきたミネラルウォーターを飲んで、せっかく出してくれたお茶は口にしませんでした。その後、滞在中はずうっと食事のときも、ホストファミリーのみんなはそのお茶を飲んでいましたが、私だけはミネラルウォーターだけを飲んでいました。後で聞いたのですが、先進国日本から来ると言う事で、家族みんなで家中大そうじをしたり、水や氷は出さないことなど、精一杯の準備おもてなしをしようと思われていたという事を知りました。ですから、その冷たいお茶も一度沸騰させて冷やしたものだったわけです。それを知った時、なんて失礼な事をしてしまったんだろうと、非常に申し訳ない気持ちになり、いつまでも罪悪感が消えなかったのを覚えています。

私がお世話になった家は、両親と子供が3人、それとおばあちゃんの6人家族でした。3人の子供は、中学生の姉妹と小学生の男の子でした。そして、その他に私が滞在していた間は、少し英語のできる高校生の男の子と一緒に寝泊りをしていました。名前がキッドという少年で、今でもよく覚えていますがいやつでした。家は高床式になっていて、離れに子供たちは寝ていてそこは雨戸がなく、虫除けの蚊帳が張ってありました。

そして、そこで過していく中で私は様々な『異文化の体験を』した訳でございます。

まずお風呂ですが、皆さんはどんな感じのお風呂を想像されますか？

お風呂は簡単に言えば『水浴び』です。石鹸で体を洗ったあとは、風呂桶にある水をかけて洗い流すだけでした。湯船にあるのは、雨水ですからそこに入って浸かると言う事はいたしません。たとえ熱帯で蒸し暑いと言っても、お湯じゃないと結構冷たくて風呂に入ってきれいさっぱりした！という感じにはなれませんでした。また、通訳の男子高校生キッドが風呂の入り方を教える為に一緒に入ったのですが、彼は恥ずかしいのか腰巻みたいな物を巻いたまま捲くりながら洗ったりしていました。お風呂が外なので、みんなそんな風に入っていたようです。

それから、お風呂とくれば次はトイレですが、大をした後は・・・。

しゃがんだ脇に水の入った桶があって、その水を左手ですくいおしりを洗います。私はこれもできなかったのです。普通はやらないと思いますが。日本から持って来たティッシュペーパーを使っていました。そして日本に帰ってから、学校の先生にタイで体験したいろいろな話をしたときに、「それで、三野輪君は現地の人とおんなじように手でおしりを洗ったの？」と聞かれて、「いえそれはできませんでした！」と答えたのですが、でもそれもやっておけばよかったなあ！と、その時思ったのを覚えています。それからでしょうか、『郷に入ったら郷に従う！』というスタンスが、私に出来たような気が致します。

実は、ここ三条に来た時も、そうでした。今、毎日片道30分かけて徒歩通勤しているのですが、あの石上大橋を着任した12月からずうっと雨が降っても、風が吹いても、雪が降っても、時にはトラックにバッシュン！と水をかけられた事もありましたが、三条の冬の寒さ、厳しさをまずは体験しようと思い、ずうっと歩いて会社に通っています。しかし、4月に入るととても良い陽気になってきて、このすばらしい気候を知ってしまいましたので、今度の冬は続けられるかどうかは、正直、ちょっと自信がなくなってしまいました。実際石上大橋を歩いている人はほとんどいないですから！

この『郷に入ったら郷に従う！』と言う私の考え方ですが、私たちが応援しているロータリー財団や米山奨学の留学生にも当てはまることだと思います。

3月に行われました新入会員オリエンテーションの宴席で、馬場一敏さんから伺ったお話ですが、以前ロータリーの外国人学生の受入をされたとき、その子が食べ物の好き嫌いが激しく、わがままで大変ご苦労された！というお話をお聞きしました。私も仕事柄ホームステイツアーを斡旋させていただく事がありますが、事前のレクチャーが大変重要です。海外に出る日本人においても、お客さん気分で行ってしまい、こんなはずじゃなかった！というケースが決して少なくはありません。

ましてや、日本で受け入れる外国人に関しては事前にある一定の国際スタンダードとしての選考基準や、出発前に異文化を体験する心構えを勉強しておくことが必要な事であると思います。

私の考える『真の異文化体験』とは、海外へ行くのならその文化を理解し、食わず嫌いではなく、まずはチャレンジしてみる！と、いう気持ちが必要だと思います。と同時に日本の良いところを再発見して頂くことも大切な事だと思います。能書きはこの辺にいたしまして・・・、

タイでのファームステイ中、苦労したことによってとても感激した事がありました。

それは、夕食後その子供たちと一緒にいろんな話をしたのですが、どちらも英語が全然ダメでなかなか会話が進まないんです！で、どうやって毎日コミュニケーションをとっていたかと言いますと、当然私は、タイ語は全くわからないし、私と彼女たちとの唯一の共通語は片言の英語で、あとはボディラングージでした。でもお互い必至でしたので、必至になると意外と心が通じるものでした。

そして、役に立ったのは辞書でした。私は英和辞典と和英辞典。向こうは英タイ辞典とタイ英辞典。これが本当に時間のかかるコミュニケーションだったのですが、私が言いたい事をまず和英辞典で調べ、出てきた英単語を見せ、彼女たちがその意味がわからないと、今度は英タイ辞典で調べ、そこでようやく『オー！』と歓声があがって、ようやく意味がわかり会話が成立する！というものでした。これはものすごく、根気の

要るやり方でした。でも、若かったせいと、ものすごい好奇心とお互い分かり合いたいという熱いものがあったので、毎日夜中までこんな感じで話をしていました。

ファームステイの最後の夜に、彼女たちは私が日本から持ってきていた懐中電灯を非常に気に入っていましたので、私はそれを『記念にあげる!』と言って渡したかったのですが、その『記念』を英語で何と言ったらいいのかがわからなくて和英辞典で調べたのです。『Commemoration』という英単語が出てきました。そしてそれを見せると今度はその英語の意味がわからなかった彼女達が、英タイ辞典で調べ、タイ語で書かれている訳を読んでそこではじめて、私の言いたかった事が理解できたのです。そしてものすごい『笑顔』が出ました。この瞬間私たちはとても感激致しました。

いよいよ、お世話になったみんなと別れる時が来ました。握手し、抱き合っ、わずかたったの1週間だったのですが、初めて経験したことがあまりにも多く、かつ新鮮であったので、私は感動感激してしまい、涙がポロポロ出てきて止まりませんでした。胸がキューツ! と、締め付けられるような感じで、今でもよく覚えています。

あのときが私の『心から感動感激』した場面でした。若かったという事と、初めての海外ということもあってだと思いますが、今でも強く心に残っています。

今、私はロータリアンとして、微力ながら海外からの受入れや海外への留学をサポートさせていただく立場になって、今の若い人達には少しでも若いうちに海外異文化の体験や、国際交流というものを経験して、幅広い見方のできる大人になってもらいたい!と思っています。

また、我々大人も色々な所に行っていますが、おいしい料理を食べ、素晴らしい景色や芸術作品、世界遺産などを見ることができれば、それはそれで大変満足度の高い旅行になる訳なのですが、もし、もしそこに現地の人との“心に残るいい出会い”があったとしたら、もっともっと感動感激する旅になるのではないかなと思います。人との出会いは旅行に限らず人生の中でとってもいいものだと思います。

ここ三条でもいい出会いがあればいいな!と、思います。

さて、今年は100年に一度の大不況と言われていますが、いよいよ来週、馬場ガバナーを中心とした13名のメンバーで、100年に一度の『第100回ロータリー世界大会』にバーミンガムへ行って参ります。その頃は、インフルエンザもどうなっているかわかりませんが、いろいろと逆風の中『感動感激の旅・真の異文化体験の旅』となるよう、元気に行って参りたいと思います。

つまらない卓輪だったかと思いますが、ご清聴どうもありがとうございました。

## 馬場ガバナー月信をお届け致します



# 月信

**国際ロータリー第2560地区**  
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2560  
2008-2009年度 6月号 Vol.12



ガバナーメッセージロータリー親睦活動月間によせて



6月は「ロータリー親睦活動月間 (Rotary Fellowships Month)」です。親睦活動月間とは、クラブやロータリアンの親睦活動のことではありません。ロータリー親睦活動というのは、国際奉仕部門に属しており、レクリエーション活動、専門職分、また、さまざまな保健や医療問題に共通の関心を持つロータリアンが参加するプログラムです。地区では、国際ロータリーから地区に親睦委員会を組織するよう要請がありましたので、急遽、第2560地区クラブ奉仕委員会内に荒澤威彦委員長から兼任していただきました。つまり、窓口を開いたという状況です。

現在、84の親睦グループがあり、国際ロータリーから独立した活動が行われています。趣味、職業、保健医療などに関する活動は、友情を育み、国際理解と奉仕活動と通じて、世界のロータリアンを結んでいます。

- ★ロータリアン親睦活動に関するお問い合わせは、
- ①RIのウェブサイト ([www.rotary.org](http://www.rotary.org))
  - ②親睦活動のウェブサイト ([www.rotaryfellowships.org](http://www.rotaryfellowships.org))
  - ③討論フォーラム ([forums.rotary.org](http://forums.rotary.org))

最後になりましたが、12回の『ガバナー月信』をお読みいただいた読者の皆さま、『ガバナー月信』を発行するためにご執筆いただいた方々、その原稿を取りまとめたいただいた『月信』担当の齋藤嘉一地区副幹事、事務局五十嵐梨絵さん、手塚早苗さんと関係の皆さまのご協力・ご支援で、継続できたことを皆様へ感謝しております。

いまさら、反省しても遅いのですが、原稿をまとめるのにロータリーの奥の深さを感じた1年でもありました。もう一度、感謝申しあげて御礼のご挨拶とします。

## 2008-09 年度 第 2560 地区クラブ紹介



糸魚川 RC  
山田 紀之 会長

### 楽しく地域に役立つ奉仕活動

みなさんこんにちは。私達の糸魚川ロータリークラブは次々年度に創立 50 周年を迎えます。すばらしいクラブを創設くださいました先輩諸兄に感謝と敬意を払い、実のある清々しい周年記念式典にすべく、全会員いろいろ秘策を練っています。

会員 33 人中会長経験者 12 人。反面若い会員が少なく、若干の年齢ギャップはありますが、全員明るく楽しく地域に役立つ奉仕活動に励んでいます。

### 直江津 RC 会長よりのメッセージ

今放送されている NHK 大河ドラマ「天地人」、その舞台、春日山の麓、府中御館の地、その一帯が私達直江津ロータリークラブのホームグラウンドにあたります。昨年、創立 50 周年を迎え、周年行事を無事済ませました。県内外のロータリアンの皆様から多数御出席頂きありがとうございました。

私達クラブでは昨年まで、ハマナスの植栽を 10 年あまり続けて参りました。これは彫刻家、田辺光彰氏の提唱によるもので、その昔、この日本海沿岸一帯、カムチャッカ半島から北陸までの間はハマナスの群生地、ハマナスが長い帯のように続いていたのだそうです。春の花の開花期には沿岸は見事なピンク色に染まり、北へ連なっていたのだそうです。即ちその再現を図ったのです。私たちは実生から一本一本育て、目的の 10 万本をこのほど達成致しました。

またそれより 10 年程前には、五智公園愛宕山の麓道路に八重桜の木およそ 200 本を植樹しました。この事業は環境庁から表彰を受けております。

この道路は現在市民の憩いの道路となり、愛されております。思えば先輩のロータリアンは、自ずと環境に配慮されておられたのだなと頭が下がる思いです。

私たちの先輩を見習い、日本を見、世界を見、地球を考えながら日頃のロータリー活動に勤しんで参りたいと思います。



直江津 RC  
熊木 繁雄 会長

### 高田東 RC 会長よりのメッセージ

当クラブは、1968 年 12 月 16 日 RI 加盟承認を受け、1969 年 6 月 29 日高田ロータリークラブをスポンサークラブとして 23 名で発足致しました。

以来 40 年先輩ロータリアンの方々が奉仕の理想の下に集いさまざまな活動と貢献をされてきました。特に当クラブでは、高田城址公園の観桜会の清掃活動、関川クリーン作戦、夏の上越まつりの民謡流しに参加し広報活動を行なってまいりました。

また、新世代奉仕活動の一環である 2 つのインターアクトクラブの活動の支援や青少年の健全育成の活動に積極的に関わり高田東ロータリークラブを知っていただく機会を作ってまいりました。このように先輩諸兄が築き上げた奉仕活動を現在 41 名の会員で活動を引継いでおります。これらの活動が地域の青少年に今年度の国際ロータリーのテーマ “夢をかたちに” につながっていくものと確信致しております。



高田東 RC  
平林 健資 会長

### 歴史と文化、上杉謙信誕生の地

越後春日山 RC は創立 15 年、会員 36 名です。上越市春日地区に位置し、西方に春日山城、それに、上杉謙信が 17 歳まで厳しく禅の修行と文武の道を学んだ林泉寺があり、周辺には上越教育大学があり、自然と歴史に育まれた地であります。NHK 大河ドラマ「天地人」の放映により、一躍全国的に知られ、優先的に地域密着、環境保全、整備を重視した奉仕活動を進めております。次年度は第 7 分区で初の女性会長が我がクラブより輩出されます。クラブ丸となった会長の支援を、今から熱く確認しあっております。



越後春日山 RC  
宮沢 義幸 会長